

会議の名称	第 22 回 東村山駅周辺まちづくり協議会				
開催日時	平成 31 年 1 月 29 日(火) 19:00~20:30				
開催場所	東村山市民センター 第 1,2 会議室				
出席者 及び欠席者	出席者： (委員) 野口町一丁目自治会、本町一丁目自治会、本町二丁目自治会 東村山市商工会、東村山駅西口共栄会 東村山駅周辺まちづくり研究会 14 人 (UD) アーバンデザイン東村山会議 三上氏、棚田氏、中谷氏、川島氏 (事務局) 渡部市長、粕谷まちづくり部長、山下まちづくり部次長 まちづくり推進課：井上課長、富田課長補佐、舟久保主査、 松尾主事、瀬川主事 産業振興課：篠宮課長 (コンサル) 日本交通計画協会 幡歩氏・近藤氏・村本氏				
傍聴の可否	傍聴可	傍聴不可の 場合はその 理由		傍聴者数	2 人
会議次第	1.開会 2.挨拶 3.議事 1)連続立体交差事業などの進捗状況について 2)東村山駅周辺まちづくりの進捗状況について 4.その他 5.閉会				
問合せ先	まちづくり部まちづくり推進課 担当者名 富田、舟久保、松尾、瀬川 電話：042(393)5111(内線 2793,2794) FAX：042(393)6846				
会 議 経 過					
■配付資料 ①次第 ②東村山駅周辺まちづくり協議会設置要綱					

③東村山駅周辺まちづくり基本計画

④東村山駅周辺まちづくり NEWS 第 44 号

## 1. 開会

1)本日の会議内容・進行についての説明

2)事務局、UD、コンサルの紹介

3)傍聴希望者の確認

(座長)

本日の協議会に傍聴希望者はいますか。

(事務局)

本日は、傍聴希望者が 2 名お見えになっております。

(座長)

事務局からの報告で、本日の傍聴希望者は 2 名ということで、これを許可したいと思います。では、傍聴者の着席まで休憩します。

— (休憩) —

(座長)

傍聴される方は、「東村山駅周辺まちづくり傍聴に関する定め」に従って傍聴をお願いいたします。

## 2. 挨拶

渡部市長より挨拶が行われた。

## 3. 議事

1)連続立体交差事業などの進捗状況について

(事務局)

連続立体交差事業及び関連する街路事業の進捗状況について、スライドを用いて説明を行った。

2)東村山駅周辺まちづくりの進捗状況について

(事務局)

東村山駅周辺まちづくり基本計画の実現に向けた、東村山駅周辺まちづくりの取組み状況について、スライドを用いて説明を行った。

その後、1)、2)の内容について質疑応答を行った。主な質疑は以下の通り。

Q. 月に1回東村山駅東西まちづくり活性化会議（以下「むら活」という。）を開いている。行政にも参加してほしいが、どうか。

A. 人口が減少するなかで、東村山駅周辺にどのように賑わいを持たせられるか、行政も重要視しているので、可能な限りむら活に参加させていただきたいと考えている。

Q. 都市計画道路3・4・9号線は駅の西側に住んでいる人にとって重要な路線だと思うが、延伸について現状の動向はどうなっているのか。

A. 駅の東側に比べて西側の基盤整備は遅れているという認識はあるが、まずは広域的な東西のネットワークの確保として、現在3・4・10号線と3・4・31号線の整備を進めている。3・4・9号線も、東村山市と東大和市とを結ぶ主要な動線と考えているので、実現に向けた検討に取り組んでいきたいと考えている。

Q. 高架下の鉄道事業者活用部分は、駐輪場だけでなくなるべく人が集まって賑わいができるようなお店にしてほしい。

A. 鉄道事業者もどのように土地を有効活用すれば駅と鉄道を多く利用してもらえるかを考えており、我々の考えと同じ方向を向いていると認識している。

Q. 今まで駅周辺で人の通行量調査等は実施しているのか。

A. まちづくりの状況に応じて、段階的に調査を実施している。市では過去に鷹の道や駅周辺で実施しており、現在進めている3・4・10号線、3・4・31号線についても周辺の道路について交通量調査を実施している。

Q. 駅東口の駅前広場の再整備は連続立体交差事業とあわせて行うのか。

A. 連続立体交差事業がある程度進み、駅施設の配置などが見えてこない、駅前広場を検討するうえで重要となる人の動線などの前提条件が決まらないが、現時点でも様々なパターンを想定して検討することは可能であるため、来年度以降から徐々に検討を進めていきたいと考えている。

Q. 駅東口の駅前広場の区域を拡大することも検討するのか。

A. 駅前広場の区域を変更することは今のところ考えていない。まずは、歩車分離という考えを中心に、現行の区域のなかで見直しを考えていきたい。

Q. 都市計画道路 3・3・8 号線が整備される東村山郵便局から同 3・4・27 号線までの区間について、新たにできる交差点の対応（信号機や横断歩道の設置など）についてどのように考えているか。

A. 都市計画道路 3・3・8 号線の整備は東京都で進めており、詳細は分からないが、交通管理者と協議をしながら検討を進めているものと考えている。

Q. 現在、連続立体交差事業により、西宿通りには道路に鉄板が敷かれている。今後そこに柱が建つということか。そうすると、西宿通りが更に狭くなるということか。また、工事期間はいつ頃までになりそうか。

A. 西宿通りには現在、覆工板という滑り止めの鉄板を敷く工事が行われている。今後そこに仮の柱が建つことで、幅員が狭くなる。警察と鉄道事業者が協議した結果相互通行は可能という判断であったようだが、互いに譲りあう必要がでてくると思う。工事を開始して初めて見えてくる課題もあると思うので、その場合は警察も含めて必要な対応をしていきたい。なお、工事期間は鉄道高架の竣工より少し前に終わるものと想定している。

Q. この協議会は、市民に寄り添った、市民との貴重な対話の場だと思う。次回はいつ頃開催する予定なのか。

A. 今回は、まちづくりが一定程度進んだということで、皆さまにご説明し、ご意見をいただく場を持ったほうがいいと考え開催した。今後もまちづくりの進捗に応じて、皆さまのご意見をお伺いしなければいけないことが増えてくると思うので、座長と協議しながら、開催時期を決めていきたい。

(その他の意見)

- ・ただ単に便利なまちではなく、東村山にしかない魅力をもったまちにしたい。
- ・用途地域の見直しは、都市計画道路の整備とあわせて行ってほしい。
- ・東村山駅周辺にはビジネスホテルがない。所沢駅など近隣の駅をみると、需要はあるのではないか。

#### 4.その他

事務局より、東村山駅周辺まちづくり NEWS 第 44 号の発行のお知らせがあった。

#### 5.挨拶

粕谷まちづくり部長より、閉会の挨拶があった。

以上